

城陽市水道事業及び下水道事業における 包括的民間委託事業

受託事業者(みずパートナーJOYO共同企業体) の提案概要について



当グループから見た「本事業導入の背景①」

城陽市水道事業ビジョン、下水道事業ビジョンの内容

城陽市水道事業ビジョン

【理想像】50年後、100年後の将来においても『安全で安心な水道水を継続して供給する』

【目 標】「安全」「強靱」「持続」

城陽市下水道事業ビジョン

【理想像】50年後、100年後においても『安全・安心で快適な暮らしを続けられる下水道』

【目 標】「安全・安心」「持続」「快適」

当グループの理解

安全で安心な『水道』と快適な暮らしを支える『下水道』を
50年後、100年後まで『持続可能』なものにするために日々の事業運営に尽力

当グループから見た「本事業導入の背景②」

日々の事業運営、上下水道事業の持続への課題

- (課題1) 浄水場などを管理してきた既存民間企業の解散
従前の品質を担保した上で後継となる事業者を確保する必要
- (課題2) 技術者の不足
上下水道事業を担う技術を持つ職員の採用が非常に困難な状況
- (課題3) 国からの補助金の確保
一部の国庫補助金の将来的な継続には「ウォーターPPP導入」が条件

当グループの理解

ウォーターPPPの導入は、上下水道サービスの短期的な継続の視点だけでなく、上下水道事業の将来を見据えた持続性確保の観点から、より民間ノウハウ等の活用が見込まれる事業方式を活用することで、**各種の課題解決に取り組むもの**

当グループから見た「本事業導入の背景③」

課題解決に向けた本事業の目的

本事業の目的

包括的民間委託(ウォーター
PPPレベル3.5)の枠組み



民間企業の創意工夫や
経験、ノウハウ等の活用

を組み合わせることで、『業務のさらなる効率化』『市民サービスの向上』『事業の持続性確保』を目指す



当グループの理解

本事業における事業者選定は、持続可能な上下水道の実現に向けて、
城陽市と連携する『パートナー選び』であると理解

当グループのビジョン・構成・実施方針

以下の3つの要素で提案を構成

1

みずパートナーJOYOのビジョン

今と将来の上下水道事業を支えるという**当グループのビジョン達成**を目指す

2

みずパートナーJOYOの構成

ビジョン達成のため、**経験・実績豊富な5社**が集結

3

みずパートナーJOYOの実施方針

3つの実施方針に基づいた**着実な事業履行**を展開

1 当グループのビジョン

安全・安心な水供給、快適な暮らしの持続に向けて



みずパートナー

JOYO

グループ名称 = 「当グループビジョン(理想像)を体現」したもの

『 城陽市(JOYO)の上下水道事業(みず)における
パートナーを目指す 』

当グループが掲げるビジョン

10年後、50年後、100年後も市民とともに歩む
今と将来の城陽市上下水道事業を支える『みず』の総合パートナー

2 当グループの構成

トップクラスの実績とノウハウを有する5社が集結



- ◆ ヴェオリア・ジェネッツ株式会社:みずパートナーJOYO共同企業体の代表企業
- ◆ 業界トップレベルのウォーターPPPの受託実績
- ◆ OM業務+CS業務を含めた包括的民間委託にも多数参画

- ◆ 水道管路調査のトップランナー
- ◆ 下水道管路の包括委託も受託
- ◆ GIS納入実績業界トップクラスに加え、管路診断ノウハウも保有

- ◆ 上下水道施設のOM業務において近畿地方トップクラスの受託実績
- ◆ 地域の上下水道を支えるエキスパート

- ◆ 鉄道を基盤とした総合インフラ事業を展開
- ◆ インフラマネジメント及びインフラサービスに関するノウハウを保有
- ◆ 城陽市地域防災計画の指定公共機関

- ◆ 航空測量コンサルタントの大手企業
- ◆ 全国で上下水道施設のストックマネジメント計画策定業務実績

3 当グループの実施方針

三つの実施方針に基づき、本業務の安定履行へ

一体マネジメントによる業務効率化

- ◆ 水道と下水道の一体マネジメント
- ◆ 維持管理と更新の一体マネジメント
- ◆ JV5社の一体マネジメント

市民目線での
上下水道サービスの
向上

- ◆ 市民満足度を意識した業務履行
- ◆ 市民生活を支える危機管理対応
- ◆ 業務の透明性と市民への発信

地域に根づいた
インフラパートナー
への成長

- ◆ 地元人材の雇用・育成と地元企業の持続性確保
- ◆ 地域インフラマネジメントの担い手育成
- ◆ 構成企業のインフラマネジメント知見の応用

本事業の安定履行を通じて、上下水道事業の課題解決へ

透明性のある業務履行と技術継承

みずパートナーJOYOの提案概要①

- 1 確実なセルフモニタリングと改善活動**
多層的・多角的なセルフモニタリングを適切に展開
- 2 市民理解促進と中長期的な人材確保に向けた広報活動**
独自の広報活動を実施
- 3 本事業期間終了後の次期受託事業者への確実な引継ぎ**
会議体等の設置による円滑な引継ぎを提案

確実な業務履行や透明性を支えるDXの推進

みずパートナーJOYOの提案概要②

1 本業務に特化した「デジタルトランスフォーメーション (DX) プラットフォーム」の構築と運用

業務データの一元管理を通じて、業務効率化やモニタリング強化に寄与



確実な技術継承と水運用

みずパートナーJOYOの提案概要③

- 1 過去の知見を確実に継承するための取り組み**
市や解散する既存民間企業が培ってきたノウハウを継承するための引継ぎ
- 2 要求水準より厳しい独自の管理基準値と追加監視項目設定**
数値管理の徹底を通じて安全で安心な水道水の安定供給に尽力
- 3 ウォーターPPPLレベル3.5のメリット発揮に向けた体制**
維持管理業務と施設更新原案作成業務が密に連携した体制を構築

危機管理体制の強化

みずパートナーJOYOの提案概要④

- 1 テロ等を考慮したセキュリティ体制の強化**
従前の設備に加え、侵入警報センサー等を独自に設置し、さらなる警備強化
- 2 当グループ構成企業の支援チームも現場組織を支援**
現場組織だけでない課題解決や業務改善で本業務の安定履行を推進
- 3 構成企業各社のネットワークを活用した支援体制**
備蓄資機材や既存調達ネットワーク等の活用から、履行拠点を支援

早期対応、早期復旧に向けた災害対応

みずパートナーJOYOの提案概要⑤

1 断水発生等を想定し、加圧式給水車を独自配備

構成企業が所有する給水車支援に加え、城陽市内に給水車1台新規配備

2 当グループ構成企業各社による応援体制

万一の場合、人員や資機材等の手配について近畿・全国の拠点網を活用

3 市と当グループ間での災害時支援協定締結を提案

事前の協定締結や各種訓練から、要求水準以上の素早い連携発揮を促進

市民サービスの向上と地域貢献

みずパートナーJOYOの提案概要⑥

- 1 地元企業への積極発注、市内人材の積極採用**
既存業務を受託する城陽市公認上下水道協同組合への積極発注を実施
- 2 チャットボット導入による問い合わせの利便性向上**
市と調整の上、HPに24時間問い合わせ可能なチャットボットを導入
- 3 独自の管路ドローンを用いた下水管路調査を実施**
従来手法に比べて交通規制時間の短縮につなげ、市民生活への影響を最小化

メーター検針・料金徴収・窓口関連業務

みずパートナーJOYOの提案概要⑦

1 利用者目線を意識して来訪者と対面する座席配置へ

来訪者に向き合うかたちに執務室レイアウトの変更を提案するなど、利用者目線のサービスを窓口業務から展開

2 各種デジタルを活用した利便性向上

外国人向け通訳サービスや、スマートメーターの導入により、利用者の多様性や利便性向上を促進



通訳サービス(イメージ)



スマートメーター(イメージ)



料金窓口での対応(イメージ)

要求水準以上の創意工夫の発揮に向けた独自提案

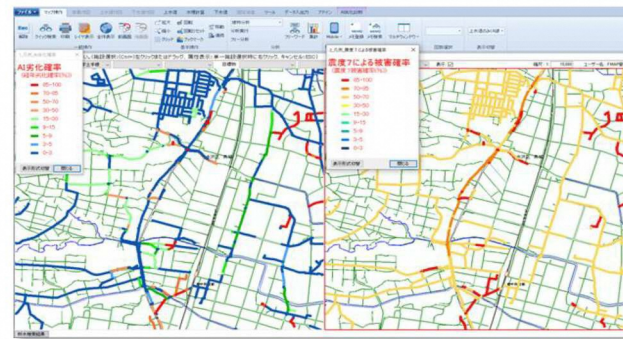
みずパートナーJOYOの提案概要⑧

1 下水道基幹管路を対象に地中レーダーでの空洞調査を実施
道路陥没の早期検知に向けて、空洞調査を独自提案

2 AI管路劣化診断システムを用いた水道管路更新検討支援
当グループ独自に水道管路の老朽化を解析し、市が実施する検討業務を支援



空洞調査(イメージ)



水道管路のAI劣化診断(イメージ)